

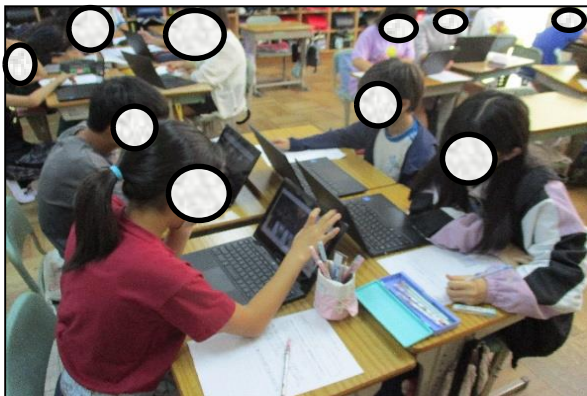
# 「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラム



## 活用事例



概要	
学校名	野田市立岩木小学校
活用方法	野田市立岩木小学校では「一人一単元」の単元づくりに取り組んできた。「単元づくり」の共通の視点として、『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム』の四つの学習過程を明確に位置付けている。特に、「見いだす」では「必要感、達成感、成就感」のある学習となるよう導入を工夫し、「まとめあげる」では「言語活動」や「振り返り」を重視して授業づくりを行ってきた。
成果等	「単元づくり」の視点を明確にし、共通理解を図ったことで、若年層からベテラン層まで充実した単元づくりを行うことができた。特に、「見いだす」「まとめあげる」の過程を大切にしてきたことで、実生活と結び付けた「必要感、達成感、成就感」のある単元を開発したり、相手意識や目的意識をもって表現する資質・能力を育成したりすることができた。



「実践モデルプログラム」の過程を大切にすることで、主体的に学習に取り組む姿が随所で見られるようになった。表現活動を多く取り入れることで、思考し表現する力が向上した。

7 本時の指導 (3/8)		成果	課題	提案
(1) 本時の目標 身の回りの物から感じた情報(色・形・大きさ・質感)を行画に書き、友達と見せ合い、情報の共通・相違を見つけ、観点ごとに構成表にまとめる。(思考力・判断力・表現力等) Bウ				
(2) 展開				
進 展 時 間 5分	学習内容と学習活動	指導・支援 (○) と評価 (◇)	備考	
	見つけたもの (見) ① 色、形、大きさなどの様子を写真や絵で表現し、友達と見せ合い、情報の共通・相違を見つけ、観点ごとに構成表にまとめる。	○ 題材にする小石や枯葉を出させ、様子にどんなものがあるかを(形、大きさ、色など)確認する。	ノートワークシート	
	2 本時の課題をつかむ。			
展 開 時 間 10分	3 形、色、大きさなどの様子を写真や絵で表現し、友達と見せ合い、情報の共通・相違を見つけ、観点ごとに構成表にまとめる。	○ 線子を書くことにしている。	教科書ノート付箋	

指導案に「実践モデルプログラム」の過程を位置付けることで、共通の視点をもつことができた。授業検討会では、Jamboard を用いることで充実した協議を行うことができた。